

町の重要な課題

太字は委員会の
要望、要請

総務文教常任委員会

調査研究を再度要請

保育園の 待機児童問題

保育園の待機児童は2月1日現在57人その内ゼロ歳児は36人で、依然として待機児童が解消されない状況である。

保育ママ制度や保育が必要な時間帯だけに子どもを預る特定保育（現在南保育園のみ実施）の検討を行っているが、結論は出していない。

待機児童の解消に向け、

園の子ども・子育て新システムの動向も見据えながら、一日も早い抜本的な解決、対応をするよう再度要請。

自主防災組織の設立

今年度限りとなる県の補助金400万円での取り組みは難しい状況。（30町内会の6割、18町内会の設立が条件）

現在9町内から結成届けが出ているが、積極的

にアプローチするよう要請。

町長を筆頭に担当課の職員が、町内会に足を運び自主防災組織の必要性や意義を話し理解を求めるなどの取り組みを行っているとの回答。

保育園の民営化

中の坪公園（中央小横）に移築する志免保育園の中央小学校への説明を終え、移管先の勢門福祉会

厚生建設常任委員会



▲クリーンパーク若杉

「ごみ処理委託料値上げ」 ごみ減量と リサイクル

RDFゴミ処理委託

料が24年度から、トン当たり9500円から1万2200円に値上げとなる。

ごみの量は減っているのに上げざるを得ない状況について、県が行った新規搬入の取組や、灰処理費用の減もあるが、RDF事業は県の指導で行ったのに、市町村の負担が増えるばかりだ。県の交渉への不満が出た。

上水道事業

桜丘低区配水池更新工事は入札により、松尾・岩崎特定建設工事共同企業体が、2億2960万円で落札。工期は平成25年3月まで。生活道路での工事車両の運行について安全対策に万全を尽すよう要請した。

下水道事業

水洗化の推進については、現状把握を行い、24年度の雇用促進事業を活用し、水洗化未実施世帯への啓発を行う。

障害児相談支援等の取組を着実に進めるよう提言。

介護保険法改正

法改正により福祉課とやすらぎの里にあった在宅介護支援センターが包括され、地域包括支援センターとなり平成24年4月より町に設置される。

住民に身近な役場に設置されることで、地域特性を十分に生かせる機能となるよう要請。

後期高齢者医療の 保険料改定

7万4324円を7万9271円に改正。要因は、給付費の伸びや、後期高齢者負担率の上昇等。生きがいづくり対策を全課連携して取組むよう提言。

障害の有無にかかわらず、相互に個性の差異と多様性を尊重し、人格を認め合う共生社会の実現を目指すものだが、厚生労働省案に批判がある。市町村に権限移譲される

議会運営委員会

平成24年第一回志免町定例会について協議。

会期は3月2日から22日までの21日間。一般質問は8名で2日間とする。請願1件、意見書2件。3月21日に後期高齢者医療保険及び介護保険料引き上げについて、全員協議会を開き学習会を行う。1月16日、2月27日に長崎県西彼杵郡正副議長会、石川県内灘町議会より視察を受け、議会基本条例の制定への経緯など意見の交換を行った。

志免炭鉱ぼた山対策 特別委員会

当委員会では、自然活用型の施設整備及び環境問題・新エネルギー活用型の提案を3町プロジェクトチームに提案。須恵・粕屋両町より遊歩道・運動公園他、子どもが自由に遊べる環境等の提案があった。3町プロジェクトチームにおいては、合意している基本方針に沿って具体的計画となるよう継続して調査研究を進める。

福岡都市圏広域行政 調査特別委員会

宇美・須恵・志免3町の合同会議を1月25日に行い、宇美町5件、須恵町3件、志免町11件、各町の課題をそれぞれ提案した。

3町間あるいは2町間の問題点を明らかにし、改めて議題として取り上げることを確認した。

志免町の主な提案

- ・福岡市との連携で特養ホームの建設
 - ・ウォーキングマップの検証
 - ・防災の協力・連携・被災者支援システム
 - ・福祉バスの乗り入れ
 - ・養護学校の建設
 - ・空港にかかわる問題
- など、具体的にはこれから行っていく。